

レク森 定例観察会

# 1月観察会の活動報告

日時：1月26日（日） 9:30～11:30

場所：レクの森 森林展示館

参加者：10名

テーマ：「冬のヒバ爺さんにあいにいこう！」

講師：水本 絵夢（教育林コーディネーター）



●春も夏も秋も冬も。ヒバ爺さんはどんな季節でも、そこにかかわらず堂々とたっています。今回はスノーシューをはいて、冬にたくましくいきる生き物の姿を観察しながら、冬のヒバ爺さんにあいにいきました。



●まず出発のまえに、スノーシューをしっかりと足にくくりつけます。



●冬芽をさがしながらあるきました。どんな特徴があるでしょう？



●トチノキの冬芽はネバネバ。芽をこもらせない工夫なのです。



●顔に見える葉痕もありました。サワグルミ（左）とオニグルミ（右）。



●川のちかくではどうぶつの足跡もいくつかみつかりましたね。



●やや足跡がふかくつき、一直線上にならぶのはキタキツネの特徴。



●雪がころがりおちる時にできる雪まくり。中心がロールケーキのようにならずをまいています。



●途中足をすべらせながらもヒバ爺さんに到着！冬も力づよい姿をみることができました。



●ヒバ爺さんの先にとっても立派なカツラの木を発見しました！

**みなさん、おつかれさまでした！**